

道平和運動フォーラム通信



2020年 11月 17日 No.4

1. 「北海道を核のゴミ捨て場にしないことを強く求める署名」452,263 筆提出



11月13日、「北海道を核のゴミ捨て場にしないことを強く求める署名」の二次集約分を提出しました。北海道平和運動フォーラム集約分は、9月30日締め切りの一次集約分で13,864筆(10月6日提出)、10月31日締め切りの二次集約分で397,278筆、合計411,142筆となりました。

全道のみならず、全国各地から賛同の署名が寄せられました。

「高レベル放射性廃棄物シンポジウム」動画視聴のお知らせ

10月25日に実施した上記シンポジウムの動画が見られます。ぜひ、今からでもご視聴ください。

(下記二次元バーコード、もしくは、北海道平和運動フォーラム Facebook の記事のリンクからご覧ください)

①イントロダクション 【動画 8:00~】

「地層処分とは何か?文献調査のねらいは何か?」

西尾漠さん(原子力資料情報室共同代表)

②北海道からの報告 【動画 19:53~】

「核抜き条例の意義と課題」

久世薫嗣さん

(核廃棄物施設誘致に反対する道北連絡協議会共同代表)

③講演 【動画 42:00~】

「原発立地地域は発展したのか(柏崎刈羽原発の事例から) 藤堂史明さん(新潟大学法学部准教授)

④シンポジウム 【動画 1.17.00~】

「原発予算に依存しない街づくり」

上田文雄さん(弁護士・前札幌市長)、西尾漠さん、久世薫嗣さん、藤堂史明さん



シンポジウム前半



シンポジウム後半

2. 「相模原市反差別条例制定を求めるオンライン署名のとりくみ」のお知らせ

言葉による迫害、脅迫などのヘイトスピーチが、特に在日コリアンの暮らす地域で集中してくり返されています。このような中、2019年12月に川崎市で「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」が可決成立しましたが、同様の条例を神奈川県相模原市でも成立させようとする動きがあります。相模原市で第2の条例ができれば、全国に広がるステップともなり、注目されています。

条例制定の後押しのため、オンライン署名への協力をお願いします。

